

前期分授業料免除申請のしおり

【大学院新入生用】

鳴門教育大学
学生課 学生係

I. 対象者

- (1) 経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる場合
- (2) 入学前1年以内（平成31年4月1日から令和2年3月31日）において、学資負担者（入学する者の学資を主として負担している者（以下「学資負担者」という。）が死亡し、又は当該学生もしくは学資負担者が風水害等の災害を受け、授業料の納付が著しく困難であると認められる場合
- (3) 前記（2）に準ずる場合であって、学長が相当と認める事由がある場合

II. 評価基準

選考の基礎となる家計及び成績の評価基準は以下のとおりです。

○家計評価の基準

家計の評価は、世帯の1年間の総所得金額により行います。（住宅建設、その他の借財は考慮できません。）また、配偶者がいなく、父又は母がいる場合は、原則として独立生計者として認めることはできません。（私費外国人留学生を除く。）

経済的理由により授業料の納付が困難であることを認定するための家計評価基準については、所得の種類・特別控除額・世帯人数等により異なるため一律に説明することはできません。

○成績評価の基準

学業優秀であることを認定するための成績評価基準は以下のとおりです。

- ・大学院1年については、出身大学（大学院を修了した場合でも学部の成績）の3段階評価成績換算値
- ・私費外国人留学生1年については、入学試験の得点割合

III. 申請手続

- (1) 提出方法
原則として、入学手続きのしおりに同封している「入学手続用封筒」で郵送してください。
直接窓口への持参による受付も可能ですが、窓口が混雑しますので郵送での手続きにご協力願います。直接持参する場合の受付時間は、午前8時30分から17時15分までとします。（ただし、土日祝日は除く。）
- (2) 提出期限
前期選抜及び中期選抜合格者は**令和2年1月8日（水）まで**（必着）
後期選抜合格者は**令和2年3月18日（水）まで**（必着）
第2次選抜合格者は**令和2年3月27日（金）まで**（必着）
※取得に時間を要するため期限までに提出できない書類（公的機関の証明書類等）がある場合は、その書類だけ別途、学生課学生係へ提出してください。
※申請書等の提出が期限を経過したものは受理できません。

- (3) 送付先 (公的機関の証明書類等を後日提出する場合)
〒772-8502 鳴門市鳴門町高島字中島 748
鳴門教育大学 教務部学生課学生係
- (4) 結果通知 学生用掲示板にて周知 (5月下旬予定) し、学生課学生係窓口にて選考結果通知書を交付します。
- (5) 注意事項 授業料免除申請者は、結果が判明するまでは授業料を納付しないでください。納付してしまった場合には、授業料免除の資格を喪失しますので、注意してください。
※授業料免除申請者に対しては、授業料口座振替申込書を提出している場合でも、4月分の引落は行いません。
- (6) その他 申請書類に関して分からないことがあれば、学生課学生係まで問い合わせてください。
(電話 088-687-6119 E-mail kousei@naruto-u.ac.jp)

IV. 提出書類

【必ず提出するもの】

- (1) 授業料免除申請提出書類チェック表
- (2) 授業料免除申請書
- (3) 家庭調書
- (4) 住民票 (R2.1.1以降発行のもの)
※「世帯全員」と記載されたもの
※マイナンバーの記載がないもの
※学資負担者の世帯と住民票が別であっても生計が同一である者 (就学者を除く) がいる場合は、それぞれの世帯全員の住民票と生計同一である旨の申立書を提出してください。
- (5) 平成30年分所得証明書 (最新の所得証明書) 及び前年分の収入を証明する書類の写し (令和元年分源泉徴収票または令和元年分確定申告書(控)等)
※収入の有無にかかわらず世帯全員分。(ただし、就学者は除く。独立生計者は本人分も必要。)
※令和元年分所得証明書の提出が可能な場合は、R1年分の収入を証明する書類は不要です。
※「H30年分所得証明書」と「R1年分源泉徴収票又はR1年分確定申告書(控)等」の両方を提出してください。
- (6) 平成30年分課税証明書 (最新の課税証明書)
※収入の有無にかかわらず世帯全員分。(ただし、就学者は除く。独立生計者は本人分も必要。)
※住民税課税状況の記載があるものを提出してください。
※「課税証明書」にH30所得金額も記載されている場合は、「所得証明書」は不要です。
- (7) 授業料免除関係調査票
- (8) アルバイト等収入報告書
- (9) 出身大学の成績証明書 (私費外国人留学生を除く。)
※卒業年月日が記載されているもの。
※卒業見込者は令和2年4月15日(水)までに提出。
- (10) 封筒 (長形3号)
※表面に自分の所属予定の専攻・コース名及び氏名を記入したもの。

【該当する場合に提出するもの】

※授業料免除申請提出書類チェック表を参照してください。

V. 提出書類記入上の注意

1. 授業料免除申請提出書類チェック表

- (1) 所属予定の専攻・コース等、氏名、電話番号及びメールアドレスを記入し、
【該当者が提出するもの】に該当がある場合には、該当者(続柄)を記入してください。(重複する場合があります。)
- (2) 授業料免除申請提出書類チェック表に必ずレ点を入れて、書類不備がないか確認してください。

2. 授業料免除申請書

- (1) 氏名欄は、本人の自署としてください。
- (2) 「免除理由」欄は、必ず本人が詳細に記入し、欄が不足するときは裏面又は別紙(様式自由)に記入して添付してください。
- (3) SEO 奨学基金用資金による修学支援について、支援希望の有無をチェックしてください。(私費外国人留学生を除く)

3. 家庭調書

本人が記入してください。(家庭調書記入例 参照)

4. 住民票(「世帯全員」であることが記載されたもの)

同一生計内の世帯全員の記載がある住民票を提出してください。**(本人及び就学者の内、世帯と住民票を別にしてしている者については提出しなくても構いません。)**
なお、「同一生計」とは、同居・別居を問わず申請者と生計を一にすることです。具体的には、父母等と同居する家族全員と、就学や病気療養等により別居している家族が該当します。**(別居独立の兄弟姉妹は該当しません。)**

5. 所得証明書及び課税証明書

収入の有無にかかわらず**同一生計内の世帯全員**(ただし、就学者については不要。独立生計者の場合、申請者本人分も必要。)について提出してください。
なお、様式については、市区町村役場備え付けの証明書で提出してください。

※ほとんどの市区町村役場では、5月頃までは令和元年分(H31.1.1~R1.12.31)の所得証明書を発行していませんので、**平成30年分(H30.1.1~H30.12.31)の所得証明書と令和元年分の収入を証明する書類(源泉徴収票又は確定申告書(控)等、以下参照)を併せて提出してください。**

区分	証明書類等	発行場所
就学者以外の者	最新の所得証明書及び課税証明書 ※同一生計内の世帯全員分	市区町村役場
給与所得のある者	令和元年分の給与所得の源泉徴収票 (写しで可)	勤務先 市区町村役場
営業所得、農業所得、その他の事業所得、不動産所得、利子・配当及び雑所得がある者	令和元年分の確定申告書(控) (税務署又は役場の 受付印があるもの)	(税務署及び市区町村役場で申告したものの控え) 市区町村役場

令和元（平成31）年に就職、もしくは令和2年に就職（予定を含む）した者	令和2年分（1月～12月）の年収見込証明書 ※年収見込証明書の取得が困難な場合は、月収（見込）証明書又は最新3か月分の給与明細書のいずれかを提出してください。ただし、この場合は賞与があるものと仮定して計算しますので、賞与がない場合はその旨を書面で申し出てください。	勤務先 提出書類チェック表の別表参照
令和元（平成31）年に退職、もしくは令和2年に退職（予定を含む）した者	退職（見込）証明書及び退職金支給日・支給額（見込）証明書（ <u>支払われない場合もその旨記載した証明書</u> ）	勤務先 提出書類チェック表の別表参照
年金・恩給等の受給者（予定を含む）	令和元年分の公的年金等の源泉徴収票の写し又は支給窓口発行の最新の年金交付（改定）通知書（ハガキ）又は証書の写し <u>遺族、母子、障害、個人年金等も含まれます。</u>	日本年金機構 各関係機関
児童扶養手当を受給している者	児童扶養手当支給額証明書等（受給額のわかるもの）	市区町村役場、福祉事務所等
無職無収入の者	無職無収入の申立書	
失業者	雇用保険受給資格者証の写し（受給期間が満了している場合は無職無収入の申立書）	ハローワーク

6. 授業料免除関係調査票

事実をありのままに記入し、申請者全員が提出してください。

7. アルバイト等収入報告書

本人及び配偶者にアルバイト等の収入（見込）がある場合の報告書ですが、**収入の有無に関係なく申請者全員が提出**してください。

8. 出身大学の成績証明書

私費外国人留学生を除く申請者全員が提出してください。また、現在大学4年生の場合は、卒業年月日が記載された成績証明書を**4月15日（水）までに**、学生課学生係へ提出してください。（入学料免除も申請される場合、2部提出する必要なし。）

提出がない場合は書類不備により、免除申請は不許可になります。

9. 封筒（長形3号）

結果通知を封筒に入れて交付します。自分の所属予定の専攻・コース等及び氏名を表面に丁寧に記入して提出してください。

10. 証明書（授業料免除状況）

この証明書は、就学者（兄弟姉妹）の授業料免除状況を証明するものです。

「授業料免除関係調査票」の1で「いる」と記入した者のみ免除の有無にかかわ

らず証明書を提出してください。ただし、高校生以下（高等専門学校生については3年生以下）の就学者は不要です。

11. アルバイト料支払（見込）証明書

「アルバイト等収入報告書」で「有」と記入した者のみ提出してください。

本人又は配偶者にアルバイト等の収入がある場合は、令和2年分の収入（見込み）について証明してもらってください。

ただし、令和元年（H31.1.1～R1.12.31）にアルバイトで得た金額と令和元年度（H31.4.1～R2.3.31）に受給した奨学金（返還の必要がないもの）の合計金額が100万円を超えていない場合は、必要ありません。

12. 1か月当たりの生活費状況調べ

私費外国人留学生，独立生計者と認められる者のうち，配偶者が無い者又は配偶者に十分な収入がないと思われる者は，令和2年度の予定を記入して提出してください。それ以外の者の提出は不要です。

13. その他，家族及び本人が次の区分欄に該当する場合は，各証明書を提出してください。

区 分	証 明 書 類 等	発 行 場 所
令和2年4月現在で高校生以上の就学者がいる世帯	各学校指定の在学証明書 （4月1日以降の発行日のものが必要） 他の書類とは別に <u>4月15日（水）までに提出してください。</u> なお，「証明書（授業料免除状況）」の提出がある場合は不要です。	就学先 提出書類チェック表参照
障がい者のいる世帯	障がい者手帳等の写し	都道府県，病院等
●長期療養者のいる世帯（申請日現在において6か月以上にわたる期間療養中の者又は療養を必要と認められる者）	・医師の証明書（ <u>長期療養を要する旨が記載されたもの</u> ）又は6か月以上にわたる長期療養が証明できる書類（ <u>発行から1年以内のもの</u> ） ・経常的に支出する金額を証明できるもの（領収書等）	病院等
●風水害等の被害を受けた者	・罹災証明書及び罹災額証明書 ・損害保険等支払証明書	市区町村役場等 保険会社
●盗難等の被害を受けた者	被害届出証明書	警察署
生活保護受給世帯	生活保護受給証明書等 （受給金額がわかるもの）	市区町村役場， 福祉事務所等
主たる家計支持者が単身赴任で別居中の世帯	・単身赴任の証明書 ・住居費等の実費が確認できるもの	市区町村役場， 勤務先等

●学資負担者が入学前1年以内に死亡した場合	<ul style="list-style-type: none"> ・死亡確認ができる書類（戸籍抄本，死亡診断書等） ・生命保険金，退職金等の金額を確認できる書類 	市区町村役場，病院等 保険会社，勤務先等
家族構成に変更がある場合（世帯構成員が別居独立した場合など。）	該当者の住民票など，世帯から別居独立していることが証明できる書類	市区町村役場等
その他特別な事情について	免除選考を行うため，大学が必要と認める書類等	

●印については、保険・損害賠償等による補填分を差し引いてください。
なお、申請書類及び証明書類の記載に虚偽の事実が判明した場合は許可を取り消すことがあります。

※併せて「入学料免除申請」又は「入学料徴収猶予申請」をする場合，以下の書類については，いずれかの申請書に1部添付して提出いただければ結構です。

- ・住民票
- ・所得証明書
- ・課税証明書
- ・R1（H31）収入を証明する書類
- ・在学証明書
- ・成績証明書

（参考）就学者及び未就学児に係る必要証明書類

	住民票	在学証明書	証明書（授業料免除状況）
大学生（国立）	△	×	○
大学生（公立，私立）	△	○	×
高専生（4，5年生）	△	×	○
高専生（1，2，3年生）	△	○	×
専門学校生	△	○	×
高校生	△	○	×
中学生	○	×	×
小学生	○	×	×
未就学児	○	×	×

○：必ず提出 △：別居の場合不要 ×：不要

授業料免除（前期分）のフローチャート

申請書類のダウンロード

<https://www.naruto-u.ac.jp/campuslife/01/002.html>

申請期限

前期選抜及び中期選抜合格者は
令和2年1月8日（水）まで

後期選抜合格者は
令和2年3月18日（水）まで

第2次選抜合格者は
令和2年3月27日（金）まで

**原則として入学手続きのしおりに同封している
「入学手続用封筒」で郵送**

（申請期限までに**必着**のこと）

直接持参する場合の受付時間は、午前8時30分から
17時15分までとします。（ただし、土日祝日は除く。）

書類に不備がないように注意してください。

※授業料免除の選考結果が判明するまでは、授業料
の納付が猶予になります。

授業料免除を申請していても、選考結果通知書が
交付される前に授業料を納付した場合は、授業料
免除の資格を失いますので、ご注意ください。

選考結果通知
令和2年5月下旬

学生掲示板で通知
学生課学生係窓口で通知書交付

免除不許可

免除許可

半額免除

又は

全額免除

授業料全額納付

授業料半額納付

提出書類により取得した個人情報、授業料免除者選考の事務手続きのために
利用し、その他の目的には利用されません。

授業料免除申請提出書類チェック表

(大学院 新入生用)

所属予定の専攻・コース等

氏名

電話番号(携帯)

メールアドレス

【全員が提出するもの】

- 授業料免除申請提出書類チェック表(大学院新入生用)
- 授業料免除申請書
- 家庭調書
- 世帯全員分の住民票(下表参照) ※世帯全員分と記載されているR2.1.1以降に発行のもの
- 所得証明書・課税証明書(下表参照)
- 授業料免除関係調査票
- アルバイト等収入報告書
- 出身大学(学部)の成績証明書 ※卒業年月日が記載されているもの、卒業見込者は4月15日(水)までに提出
- 封筒(長形3号) ※表面に自分の所属予定の専攻・コース等名及び氏名を記入したもの

【該当者が提出するもの】 ○:必ず提出 △:状況に応じ提出 ×:提出不要 (就学者以外)

職業等	該当者(続柄)	住民票	所得証明書 課税証明書 (最新のもの)	令和元年分 源泉徴収票	確定申告書 (控) 受付印があ るもの	無職無収入 の申立書	雇用保険受 給資格者証 (写)	その他
給与所得者		○	○	○	×	×	×	△
令和元(平成31)年, 令和2 年に就職した人(予定含む)		詳細は別表のとおり						
令和元(平成31)年, 令和2 年に退職した人(予定含む)								
自営, 農業, その他		○	○	×	○	×	×	△
年金, 恩給等受給者		○	○	○	×	×	×	△
専業主婦		○	○	×	×	○	×	△
失業者		○	○	△	×	○	△	△
未就学児		○	×	×	×	×	×	△
その他		○	○	△	×	○	×	△

(就学者)

職業等	該当者(続柄)	住民票	所得証明書 課税証明書 (最新のもの)	証明書 (授業料免除 状況)	在学証明書	アルバイト料 支払(見込) 証明書	その他
本人		△	×	×	×	△	△
大学生(国立)		△	×	○	×	×	△
大学生(公立)		△	×	×	○	×	△
大学生(私立)		△	×	×	○	×	△
高専生(4,5年生)		△	×	○	×	×	△
高専生(1,2,3年生)		△	×	×	○	×	△
専門学校生		△	×	×	○	×	△
高校生		△	×	×	○	×	△
中学生		○	×	×	×	×	△
小学生		○	×	×	×	×	△

(その他)

職業等	該当者(続柄)	提出書類	備考
障がい者		障がい者手帳等(写)	詳細は担当窓口で確認 してください。
長期療養者		医師の証明書(発行から1年以内のもの)等	
風水害, 盗難等の被害を受けた者		罹災証明書及び罹災関係調査書等	
生活保護受給世帯		生活保護受給証明書等	
単身赴任で別居中の世帯		単身赴任の証明書, 住居費等の実費を確認できる書類等	
両親の片方又は両方が死亡した者		戸籍抄本, 死亡診断書等	
独立生計者		所得・課税証明書, 預金通帳(写), 1ヶ月当たりの生活状況調べ等	
その他		事情により大学が必要と認める書類等	

(別表)

【令和元(平成31)年, 令和2年に就職又は退職した人(予定含む)】

職業等	該当者(続柄)	住民票	略歴 (H30.1～)	所得証明書 (最新のもの)	R2.3まで在学 していることを 証明できるもの	年収見込証明書	令和元(平成31)年分 源泉徴収票	無職無収入 の申告書	雇用保険受 給資格者証 (写)	退職(予 定)証明 書	退職金支給 日・支給額 (予定)証明 書	その他
R2.4から就職 (R2.3まで学生の場合)		○ 世帯全員 分と記載さ れているもの。 R2.1以降に 発行された もの。	○ A4サイ ズ の用紙にメモ 書きした もので可。	○ R2.3まで在学 していることを 証明できるもの の提出により省 略できる。	○ 在学証明書 学生証(写) など。 所得証明書を 提出する場 合は不要。	○ R2.4～1年間 分。 取得が困難な 場合は月収見 込み証明書等 収入の月額が 確認できるも の。	×	×	×	×	×	△ 大学が必要と 認める書類。 (事情によっ て提出を求 める場合があ ります。)
H31.1以降に就職		○ 世帯全員 分と記載さ れているもの。 R2.1以降に 発行された もの。	○ A4サイ ズ の用紙にメモ 書きした もので可。	○	×	○ R2.1～1年間 分。 取得が困難な 場合は最新3ヶ 月分の給与明 細書(写)	○ ただし、 R2.1以降に 就職した場 合は不要。	×	×	×	×	△ 大学が必要と 認める書類。 (事情によっ て提出を求 める場合があ ります。)
H31.1～R1.12に退職		○ 世帯全員 分と記載さ れているもの。 R2.1以降に 発行された もの。	○ A4サイ ズ の用紙にメモ 書きした もので可。	○	×	×	○ 退職金の源 泉徴収票	○ 再就職した 場合は不要。	○ 定年退職の 場合は不要。	○	○ 退職金の源 泉徴収票を 提出する場 合は不要。	△ 大学が必要と 認める書類。 (事情によっ て提出を求 める場合があ ります。)
R2.1～R2.3の間に 退職		○ 世帯全員 分と記載さ れているもの。 R2.1以降に 発行された もの。	○ A4サイ ズ の用紙にメモ 書きした もので可。	○	×	×	○ 退職金の源 泉徴収票	○ 再就職した 場合は不要。	○ 定年退職の 場合は不要。	○	○ 退職金の源 泉徴収票を 提出する場 合は不要。	△ 大学が必要と 認める書類。 (事情によっ て提出を求 める場合があ ります。)

授業料免除申請書

令和 年 月 日

鳴門教育大学長 殿

所 属

令和2年度入学

氏 名

下記により授業料免除を受けたいので、許可くださるよう
関係書類を添え、申請します。

記

1. 令和2年度 (前期分) ・ 後期分)
2. 免除を受けたい理由 (詳細に記入のこと。)

※授業料免除の判定結果が「半額免除」であった場合、鳴門教育大学基金における
SEO奨学基金用資金による修学支援を

- 希望する。
 希望しない。

(注1) 上の□いずれかにチェックを付すこと。

(注2) 「鳴門教育大学基金におけるSEO奨学基金用資金による修学支援」とは、
授業料免除の判定結果が半額免除であった者のうち、特に支援が必要と
判定した者に対して、一定額を鳴門教育大学基金から支給する制度です。
被判定者は、支援金を返還する必要はありません。(寄附者へお礼状を書
いていただきます。)

(注3) 氏名は、必ず本人が自署すること。

備考 規格は、A4とする。

家庭調書

				学籍番号						
フリガナ				所属		学校教育研究科 第 年次				
氏名				学校教育学部		第 年次				
本人住所		〒 () 番 ()		家族住所		〒 () 番 ()				
家族及び所得(主たる家計支持者に○印・別居者に×印)	就学者を除く家族	続柄	氏名	年齢	現在の職業	在職期間	勤務先	給与所得の収入金額(税込)	所得金額(税込)	
		父				年			千円	千円
	※ 死亡・生別・無職等の場合 その年月 (年 月)									
	母				年			千円	千円	
	※ 死亡・生別・無職等の場合 その年月 (年 月)									
					年			千円	千円	
					年			千円	千円	
					年			千円	千円	
					年			千円	千円	
	所得金額(就学者を除く家族)合計								①	千円
就学者	続柄	氏名	年齢	在学学校名	学年	通学別	本人の奨学金及びアルバイト等の収入金額(年額)			
	本人			国立鳴門教育大学		※自宅・自宅外	奨学金	千円		
				立		※自宅・自宅外				
				立		※自宅・自宅外	アルバイト	千円		
				立		※自宅・自宅外				
本人の奨学金及びアルバイト等の収入金額(合計)							②	千円		
身体障害者	本人との続柄	障害の種類別	手帳番号	長期療養者	本人との続柄	病気の状況				
収入状況	給与所得	商・工・林・水産業所得	農業所得(1反=10a=1,000㎡)		その他の職業・雑所得		左記以外の臨時所得			
	(収入金額を記入)	営業種目 ()	農作物 米・麦・雑穀 作付延面積 a		職種 ()		退職金 千円			
	給与・賃金(賞与を含む) 千円	営業形態	野菜・果実・園芸等 a		家賃・地代		退職一時金 千円			
	役員報酬(賞与を含む) 千円	※ 1 個人経営	その他 ()		利子・配当		保険金 千円			
	専従者給与 千円	2 同族会社	従事者 家族 人		その他 ()		資産譲渡 千円			
	年金・恩給 千円	3 その他 ()	使用人 人		山林所得		千円			
	扶助料 千円	設備 機械 台	米・麦・雑穀 ㎡		その他 ()		その他 () 千円			
	その他 () 千円	車 両 ()	野菜・果実・園芸等 ㎡		収入金額計		収入金額計			
		従事者 家族 人	その他 () 千円		必要経費		必要経費			
		使用人 人			収入金額計		収入金額計			
収入金額計(税込) 千円		売上高計 千円	収入金額計 千円		必要経費 千円		必要経費 千円			
所得金額(税込) 千円		差引所得金額(利益金額)(税込) 千円	差引所得金額(税込) 千円		必要経費 千円		必要経費 千円			
所得金額(①) + 本人収入(②) の合計								③	千円	

(注) 1 ※印のところは○印で囲むこと。
 2 記入にあたっては、必ず「申請のしおり」を参照すること。
 3 千円未満の端数は切り捨てること。

家 庭 調 査 書

(令和2年4月1日現在)

					学籍番号	20720001 ※新入生は記入しない					
フリガナ	カト 教子				所属	学校教育研究科	(大学院生はこの欄にコース名を記入) 第1年次				
氏名	鳴門 教子					学校教育学部	(学部生はこの欄にコース名を記入) 第1年次				
本人現住所	〒(772-0051) 鳴門市鳴門町高島字中島99-7 学生宿舎5-201				家族住所	〒(772-8502) 鳴門市鳴門町高島字中島748					
家族及び所得(主たる家計支持者に○印・別居者に×印)	就学者を除く家族	続柄	氏名	年齢	現在の職業	在職期間	勤務先	給与所得の収入金額(税込)	所得金額(税込)		
	父	鳴門 学	51	農業	33年	自宅		千円	1,561千円		
	※死亡・生別・無職等の場合 その年月(年 月)										
	母	鳴門 育美	47	農業	22年	自宅		1,200			
	※死亡・生別・無職等の場合 その年月(年 月)										
	祖父	鳴門 大吉	80	無職	年	年金受給者		1,269			
	兄	鳴門 勝夫	25	会社員	2年	徳島建設㈱		3,043			
	姉	鳴門 文	24	家事手伝い	年						
	所得金額(就学者を除く家族)合計								① 記入しない 千円		
	就学者	続柄	氏名	年齢	在学学校名		学年	通学別	本人の奨学金及びアルバイト等の収入金額(年額)		
本人	鳴門 教子	22	国立鳴門教育大学大学院		1	※自宅・自宅外	奨学金	360千円			
兄	鳴門 勉	20	国立徳島大学		3	※自宅・自宅外					
妹	鳴門 潮美	17	県立徳島高等学校		3	※自宅・自宅外	アルバイト	57千円			
						立	※自宅・自宅外				
本人の奨学金及びアルバイト等の収入金額(合計)								② 446千円			
身体障害者	本人との続柄	障害の種類別		手帳番号		長期療養者	本人との続柄	病気の状況			
	姉	〇〇〇〇 3級		12345			祖父	〇〇〇〇〇			
※収入状況は分かる範囲で記入してください。											
収入状況	給与所得	商・工・林・水産業所得		農業所得(1反=10a=1,000㎡)		その他の職業・雑所得		左記以外の臨時所得			
	(収入金額を記入)	営業種目()		農作物 米・麦・雑穀 作付延面積 a		職種()		退職金 千円			
	給与・賃金(賞与を含む) 千円	営業形態		野菜・果実・園芸等 a		家賃・地代		退職一時金 千円			
	役員報酬(賞与を含む) 千円	※1 個人経営 2 同族会社 3 その他()		その他() a		利子・配当		保険金 千円			
	専従者給与 千円	設備 機械 台 車 両 台		従事者 家族 人 使用 人		その他()		資産譲渡 千円			
	年金・恩給 千円	その他()		米・麦・雑穀 千円 野菜・果実・園芸等 千円		その他()		山林所得 千円			
	扶助料 千円	従事者 家族 人 使用 人		その他() 千円		その他() 千円		その他() 千円			
	その他() 千円	売上高計 千円		収入金額計 千円		収入金額計 千円		収入金額計 千円			
	収入金額計(税込) 千円	必要経費 千円		必要経費 千円		必要経費 千円		必要経費 千円			
	所得金額(税込) 千円	差引所得金額(利益金額)(税込) 千円		差引所得金額(税込) 千円		差引所得金額(税込) 千円		差引所得金額(税込) 千円			
所得金額(①) + 本人収入(②)の合計								③ 記入しない 千円			

(注) 1 ※印のところは○印で囲むこと。
 2 記入にあたっては、必ず「申請のしおり」を参照すること。
 3 千円未満の端数は切り捨てること。

授業料免除関係調査票

(R2 授業料)

申請者氏名 _____

1. 授業料免除状況

就学者（兄弟姉妹）のうち、国立（公立、私立は関係ありません。）の高専以上の学校（高専（4年、5年）、大学、大学院等）に行っている者が（ いる ・ いない ）

※いずれかに○印をつける

い る . . . 下欄に記入してください

い ない . . . 下欄への記入は不要

氏 名	学校（学部）等名	入学年度	令和元年（平成31年）度免除状況	
			前 期	後 期
		年	全・半・不・無	全・半・不・無
		年	全・半・不・無	全・半・不・無
		年	全・半・不・無	全・半・不・無
		年	全・半・不・無	全・半・不・無

(注) 全：全額免除，半：半額免除，不：不許可，無：申請なし又は該当なし

2. 奨学金関係

申請者本人が令和元年度（H31. 4. 1～R2. 3. 31）に奨学金を受給して（ いた ・ いない ）

※いずれかに○印をつける

い た . . . 下欄に記入してください

い ない . . . 下欄への記入は不要

奨学金の名称	受給期間	月 額	年 額	貸与・給与	令和2年度継続の有無
	～	円	円	貸与・給与	有・無
	～	円	円	貸与・給与	有・無
	～	円	円	貸与・給与	有・無

(注) 貸与：返還が必要な奨学金（例：日本学生支援機構奨学金）、給与：返還の必要がない奨学金

日本学生支援機構奨学金は貸与（返還の必要がある奨学金）であるため、本人の収入として算定しませんので、「家庭調書」の奨学金（年額）欄に記入する必要はありません。

アルバイト等収入報告書

(R2 授業料)

本人または配偶者の収入について

1. 前年 (H31. 1. 1~R1. 12. 31) に収入がありましたか。 (はい・いいえ)
2. 当年 (R2. 1. 1~) に収入がある予定ですか。 (はい・いいえ)

全ての質問に「いいえ」と答えた人は、記入終了です。

質問の答えに1つでも「はい」と答えた人は、下欄に必要事項を記入し、アルバイト先ごとに別紙「アルバイト料支払(見込)証明書」を添付してください。

※令和元年 (H31. 1. 1~R1. 12. 31) にアルバイトで得た金額と令和元年度 (H31. 4. 1~R2. 3. 31) に受給した奨学金 (返還の必要がないもの) の合計金額が100万円を超えていない場合は、証明書の添付は必要ありません。

アルバイト先名	職 種	期 間	収入金額 (年額・税込)		備 考
			令和元年 (平成31年) 分 (1月~12月)	令和2年分 (1月~12月)	
					本 人 配偶者
					本 人 配偶者
					本 人 配偶者
					本 人 配偶者
					本 人 配偶者

- 注) 1. 令和元年 (平成31年) 分の収入金額は、1月から12月までの間に実際に得た金額を記入してください。
2. 令和2年分の収入金額は、1月から2月までの間に実際に得た金額と、3月から12月 (見込額) に分けて記入してください。

上記のとおり相違ありません。

令和 年 月 日

申請者 (学部・大学院) 第 年次

氏名 (自署)

アルバイト等収入報告書

本人または配偶者の収入について

1. 前年（H31. 1. 1～R1. 12. 31）に収入がありましたか。 (はい)・いいえ
2. 当年（R2. 1. 1～）に収入がある予定ですか。 (はい)・いいえ

全ての質問に「いいえ」と答えた人は、記入終了です。

質問の答えに1つでも「はい」と答えた人は、下欄に必要事項を記入し、アルバイト先ごとに別紙「アルバイト料支払（見込）証明書」を添付してください。

※令和元年（H31. 1. 1～R1. 12. 31）にアルバイトで得た金額と令和元年度（H31. 4. 1～R2. 3. 31）に受給した奨学金（返還の必要がないもの）の合計金額が100万円を超えていない場合は、証明書の添付は必要ありません。

アルバイト先名	職 種	期 間	収入金額（年額・税込）		備 考
			令和元年 （平成31年）分 （1月～12月）	令和2年分 （1月～12月）	
例. ○○宅	家庭教師	H29. ○～H30. ○	○○円	○○円	本 人 配偶者
○○スーパー	レジ	H31. 4～R2. 2 注)2を参照	57,000円	21,000円	本 人 配偶者
○○スーパー	レジ	R2. 3～R2. 4 注)2を参照		16,000円 （見込額）	本 人 配偶者
△△スーパー	レジ	R2. 4～R2. 12		70,000円 （見込額）	本 人 配偶者
					本 人 配偶者

- 注) 1. 令和元年（平成31年）分の収入金額は、1月から12月までの間に実際に得た金額を記入してください。
2. 令和2年分の収入金額は、1月から2月までの間に実際に得た金額と、3月から12月（見込額）に分けて記入してください。

上記のとおり相違ありません。

令和〇〇年〇月〇日

申請者 (学部 ・ 大学院) 第 1 年次

氏名（自署） 鳴 門 教 子

アルバイト料支払（見込）証明書

鳴門教育大学（学部・大学院） 年次

申請者氏名

このたび、免除等の申請（入学料免除・徴収猶予、授業料免除、日本学生支援機構奨学金）をいたしますので、私のアルバイト料の証明を下記によりお願いします。

記

学生氏名	
仕事内容	
雇用期間	年 月から 年 月（予定）まで
令和2年中の （1月～12月） 支払（見込）金額	円（ 月から 月（予定）まで 月分）

上記のとおり証明します。

令和 年 月 日

雇用者住所

雇用者氏名

印

電話番号（ ） -

アルバイト料支払（見込）証明書

鳴門教育大学（学部・大学院） 1 年次

申請者氏名 鳴門教子

このたび、免除等の申請（入学料免除・徴収猶予、**授業料免除**、日本学生支援機構奨学金）をいたしますので、私のアルバイト料の証明を下記によりお願いします。

記

学生氏名	鳴門教子
仕事内容	コンビニエンスストア レジ
雇用期間	令和2年4月から令和3年3月（予定）まで
令和2年中の （1月～12月） 支払（見込）金額	107,000円（4月から12月（予定）まで9か月分）

上記のとおり証明します。

令和〇〇年〇月〇日

雇用者住所 鳴門市鳴門町高島

雇用者氏名 高島育夫

印

電話番号 (088) 633 - ××××

年間収入(見込)証明書

住 所 _____

氏 名 _____

生年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

雇用年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

証 明 額 _____ 円

給与支払状況

対象月	支払(予定)額	対象月	支払(予定)額
令和2年1月	円	令和2年10月	円
令和2年2月	円	令和2年11月	円
令和2年3月	円	令和2年12月	円
令和2年4月	円	令和3年1月	円
令和2年5月	円	令和3年2月	円
令和2年6月	円	令和3年3月	円
令和2年7月	円	夏期賞与	円
令和2年8月	円	冬期賞与	円
令和2年9月	円		
合 計			円

年間収入(見込)額について上記のとおり証明します。

令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日

所 在 地

事業所名

代表者名

無職無収入の申立書

令和 年 月 日

鳴門教育大学長 殿

免除申請者氏名 _____

申立者氏名
(申請者との続柄) _____ ()

令和2年度前期授業料免除の申請にあたり、申立者は下記のとおり無職無収入であることに相違ありません。

記

無職である事情や現在の状況（具体的に記入すること）

(注) 申立者が自署すること

証明書（授業料免除状況）

国立	※大 学 大学院	※学 部 研究科	年
----	-------------	-------------	---

国立	高等専門学校	年
----	--------	---

氏名（自署）

このたび、鳴門教育大学に在学中の私の 兄・弟・姉・妹（氏名 _____）が、
※入学料免除・徴収猶予，授業料免除の申請をいたしますので，授業料免除状況等を下記
により証明願います。

記

入 学 年 度		年 度 入 学				
通 学 状 況		※ 自 宅 ・ 自 宅 外 通 学				
令和元年度 (平成31年度) 免除状況	前 期 分	全 額 免 除	半 額 免 除	不 許 可	申 請 な し	令和2年度入学の ため、該当しない
		円	円			
	後 期 分	全 額 免 除	半 額 免 除	不 許 可	申 請 な し	令和2年度入学の ため、該当しない
		円	円			

(注) ※には，○印を記入してください。

上記のとおり証明します。

令和 年 月 日

大学	学部
----	----

高等専門学校

係 氏名	(印)
------	-----

1 か月当たりの生活費状況調べ

(R2 授業料)

氏 名 _____

収 入		支 出	
1 父母等からの給付額	円	1 食費	円
		2 住居費	円
2 アルバイト等	円	3 光熱水費	円
		4 通学交通費	円
3 奨学金等	円	5 教育費	円
		6 小遣い	円
4 その他 ()	円	7 その他 ()	円
合 計	円	合 計	円

備 考（生活費が不足する場合の補充方法等）